

胃部検査について

【今年度の変更点】

1. 35歳以上の受診者全員に採血による「ABC 検診(胃がんリスク検診)」を追加で実施します。
(自己負担なし)

●受診希望施設で「ABC 検診」が実施されているかどうか、ご確認ください。

ア)実施可能な施設の場合

予約の際に「ABC 検診」を希望する旨を伝えて下さい。また、受診券発行の際も必ずオプション検査の中から選択して下さい。

イ)実施ができない施設の場合

後日、郵送による血液検査を実施予定です。

2. 35歳未満の方の胃部 X 線検査を廃止します。

●35歳未満の方で、胃部 X 線検査または胃管内視鏡を希望される場合は、全額自己負担にはなりますが受診することは可能です。

●次年度(2018年度)より ABC 検診を実施します。

※ABC検診(胃がんリスク検診)とは・・・

「ピロリ菌感染の有無」と「胃粘膜の萎縮(炎症)の有無とその程度」を測定する血液検査で、胃がん発生のリスクをA～Eの5群に分類し判定する検診です。

A 群: 胃がんの発生はほぼゼロであるが、偽 A 群(かつてピロリ菌に感染、ペプシノーゲン値が境界域)の場合もあるため、5年に1回の内視鏡検査を推奨
(自覚症状があれば保険診療の検査)

B 群: ピロリ菌除菌(保険診療)、以後、定期的に胃管内視鏡検査を実施

C 群: ピロリ菌除菌(保険診療)、以後、定期的に胃管内視鏡検査を実施

D 群: 以後、毎年胃管内視鏡検査を実施

E 群: すでにピロリ菌除菌済みの方、以後、定期的に胃管内視鏡検査を実施

実施者のリスク分類により、次年度の胃管内視鏡検査の内容を通知する予定です。

(A 群判定でも家族歴や飲酒等で食道がんリスクが高く、胃管内視鏡を希望する方は検査を受けることができます。)